

## ♪「木下そんきさん 喜寿を祝うつどい」ぶらり訪問記♪

日 時 2010年11月28日(日)14:30～

会 場 板橋区立グリーンホール

主 催 「木下そんきさん・喜寿を祝うつどい」実行委員会

11月最後の日曜日、木下そんきさんの「喜寿を祝うつどい」が催されました。会場は横に細長く、参加者も多い中でステージを確保する関係もあって少々狭く感じましたが、会場の飾りつけなど手づくりで一生懸命準備された様子が参加者に伝わってきます。

プログラムは2部構成で、第1部は子どもたちも参加しての「板橋の仲間たちによるぶち合わせ太鼓」で開幕し、挨拶、乾杯まで。

第2部は「東京ローカル・ホンク」によるバンド演奏で始まりました。(ギター&ボーカルは木下そんきさんのご子息でした)

第2部は幼少の頃から時代を追って懐かしい貴重な写真をスクリーンに写しながらそれぞれ節目ごとに友人からの祝辞や独唱などによって構成されていました。

★写真1「奈良時代」～では(合唱団しじゅうから等)が祝辞を。★写真2「早稲田・新宿合唱団」～では宮崎治氏が。★写真3「三池・歌劇沖縄・音楽センター」～では神谷国善氏、松永勇次氏、赤井孝十四氏、中尾富子氏が祝辞を、また壇上さわえ氏が「月見草」他、山田千賀子氏が「君の笑顔すてきだから」を独唱、さらに女性有志によって「夕やけ」を合唱。★写真4「アコ教室・板橋」～では佐々木忠雄氏、佐藤功氏が祝辞を、またアコ教室の仲間によるアコ合奏、ドヴォルザークの「新世界より」(下の写真)、さらに板橋うたう会

他が「さかさまのうた」他、曲:木下氏を合唱。

★写真5「家族」～ではお孫さんなどから



花束のプレゼント(写真左)、また、木下そんきさんから謝辞。そしてフィナーレは自ら作曲した「花には太陽を子どもらには平和を」と「明日へ」を会場の



全員で合唱。(写真上)最後に音楽センター秋川教室のアコーディオン仲間、佐藤平八氏によって閉会の挨拶となりました。

木下そんきさんは音楽センターのアコーディオン講師でもあるので、筆者も教室は違っても音楽センターの夏期講習会などで先生には教えていただくことがあります。今日アコ合同で合奏した「ドヴォルザークの新世界交響曲」の指揮を昨年も見ているが何時聴いてもそのエネルギーに圧倒されます。

今日はプログラムを見てわかる様にうたごえ運動を通して合唱団の指導をされたり、作曲活動をされて多方面の方々と人脈をつくられた木下そんきさんの活動の広さと人柄に接するよい機会となりました。

時折杖を使って歩く姿を見かけますがアコーディオン愛好者のためにもまだまだお元気で活躍して欲しいと思います。

(乙津:記)

